

おだわら

編集発行 小田原市役所広報課 〒250 小田原市荻窪300番地

昭和62年

3月1日

人口・世帯	(2月1日現在)
人口 187,827人	(前月比+107人)
世帯 57,419世帯	(前月比+61世帯)



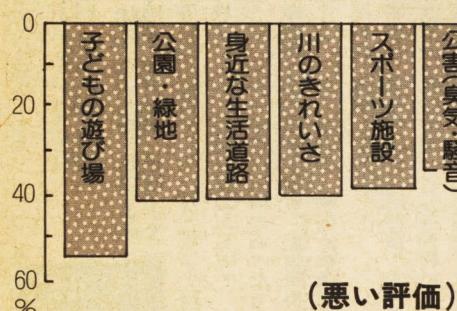
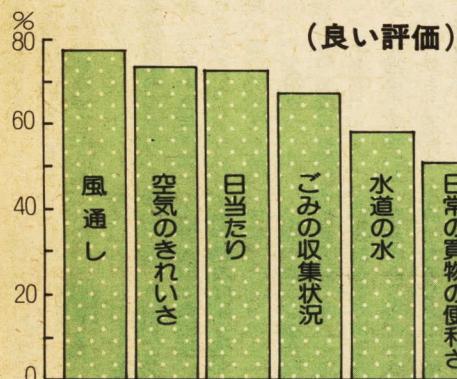
第6回 市民アンケート調査

調査の方法・対象

住民基本台帳により、二十歳以上の方を等間隔無作為で三千人抽出し、調査票を郵送し回答を返送していただく郵送調査法で行いました。

回答者の内訳は、男性四八・七%，女性五一・二%です。居住期間は二十年以上が六六・六%，十年～二十年未満は一五・五%，十年未満は一七・三%です。

《生活環境は》



住み良いまち、でも

もっとゆとり空間を

市では、市民のみなさんの声を市政反映していくために、「市民アンケート調査・小田原市に住んで私はこう思つ」を実施しています。その第6回調査は、昨年十月に行いましたが、結果がまとまりましたので概要をお知らせします。

今回の調査は、市民の日常生活や

「歴史と文化の香る都市」を目指す小田原への定住意向は、次のとおりです。

○ずっと住み続けたい
○当分住みたい
○移転したい
○どちらともいえない、無回答
○「ずっと」と「当分」を合
わせると八五%、つまり十人
に八人が小田原に住み続けた
ことと考えています。

生活環境に対する全体評価は、六割の方が「住み良い」

21世紀の小田原は
私たちの手で市に望む
施策は

市民の自主性に基づくまちづくりのためには、市民と行政が役割を分担し協力する必要があります。

そのためには、市民と行政が役割を分担し協力する必

要があります。

その一つに、市民、事業所、

設などです。これは、市民の生活に生じた「ゆとり」を

等からの寄付も加えていく三

つの基金がありますが、その

関心度は次のとおりです。

○ふるさとみどり基金

○社会福祉基金

○健康医療対策

○老人福祉

○道路の整備

○土地利用対策

○下水道の整備、公園・広場の整備

○地域活性化

○高齢者雇用

○老人介護体制の充実

○工業団地の造成による優良

企業の誘致

○年金制度の充実や、雇用の促進など、老人の経済的な自立に関心が高いようです。

市では、独り暮らしや寝たきりの老人も、安心して生活できるようなまちを目指していきます。

このまちで暮らして・・・



○高齢者の雇用 三六・三%

○工業団地の造成による優良企業の誘致 一九・七%

○年金制度の充実や、雇用の促進など、老人の経済的な自立に関心が高いようです。

市では、独り暮らしや寝た

きりの老人も、安心して生活

できるようまちを目指してい

ます。

生きる場が少ないという指

摘です。

市では現在、プロジェクト

チームを組み、市民施設の見直しを図っています。

活力あふれる地域経済を確立するため、将来の産業振興

はり高齢化社会問題への関心が高くなります。さらに女性は趣味や家庭教育に、男性は

は趣味や家庭教育に、男性は

